

【平成24年度】各会場での主な意見・要望等

5 神社・大湊地区

《神社小学校保護者》

(6/1)

- ・ 大湊は1つの自治会のため、神社より大湊の方が意見をまとめるのが大変だと思う。
- ・ 防災の話があったが、防災拠点としてそれなりの設備を整える必要があるのではないかな。
- ・ 神社小の位置に統合されるのか。
- ・ 下野町くらいになるのか。小木町の人は、バイパスを越えて通学することになるので遠くなる。交通安全の面が問題になる。

(9/22)

- ・ 計画では「両校の間」としているが、具体的に場所は決まっているのか。

《大湊小学校保護者》(9/21)

- ・ 大湊町振興会の様子はどうだったか。
- ・ 統合したら生徒の数が増えるのは分かるが、先生の数はどうなるのか。補助の先生が取り合いになっているが、統合により解消されるのか。
- ・ 統合すると様々な問題がでてくる。PTA会費など。統合する際の良い方法や例はあるのか。
- ・ なぜ統合より防災が進まないのか。志摩市にはH16年に津波タワーが建設されているのに、伊勢市は遅いのでは。実際子どもを持っている保護者の場に教育委員会が来る前に市のトップが来て説明すべきでは。もっと説明を広げてもらって、アンケートをとるなり、意見を吸い上げてほしい。
- ・ 津波対策のこと、橋の危険性についてはどうか。通学距離の半径2kmの規定では大湊の入口と奥で距離の差がでてバスの有無が発生する。他の地域とは違い陸続きではなく、逃げる場所がないので橋をもう1つつけてほしい。跡地の提案等、具体的なものがないと不安である。

- ・ 子どものことについては神社小との統合はありがたい話だと思う。しかし、地域住民・親等の安全の確保のためにも統合と平行して防災も進めていってほしい。
- ・ 統合して、橋を渡るなら大湊地区全部バスにしてほしい。しかし道幅が狭いのでバスが通ると地域住民が危険である。
- ・ 統合を進めていく上で一番気になるは、学校の場所や通学手段。具体的な提案がほしい。詳しいものがないと分からない。
- ・ 統合が進んでいくのが決まるのはいつか。
- ・ 学童保育はどうなるのか。

(2/5)

- ・ 今までやってきた浜そうじや焼き芋の行事をどうしていくかといった回答がなかったように思われるが、他の小学校の実例などをあげて話してもらった方がわかりやすかったように思う。
- ・ ハイパーQU はもう実施しているのか。また、効果は出ているのか。
- ・ 心のケアについてだが、児童の個人面談は、今は実施していないのではないか。
- ・ 教員や学習支援員、教育支援ボランティア等の増員をしていくとあるが、統合してから馴染むまでの一定期間なのか、それともずっと続いていくのか。
- ・ 大湊小にもスクールカウンセラーも来ているが、時間が少ない。(2週間に1回) スクールカウンセラーの絶対数が少ない。カウンセラーの確保はできるのか。
- ・ 防災のことが心配。平成25年度以降に津波タワーの建設が予定されていると言っていたが、どの程度まで進んでいるのか。
- ・ 子どもが助かるだけでなく、大人も助かる必要がある。大湊は高台がないので、逃げる場所がない。防災のこともあわせて進めてほしい。
- ・ 市長のコメントを求めると要望に書いたが、こういった声が上がっているというのは伝えてもらったのか。全体ではなくその地区に対するコメントがほしい。
- ・ 赤い橋(湊橋)は、調査はしているのか。
- ・ この統合の話が順調に進んだら、開校は何年頃になるのか。
- ・ 統合の賛否はどういうふうにするのか。
- ・ 来年度入学する児童が1桁の人数と聞いている。そのような人数でクラスが成り立っていくのか。統合を前提に先に統合する学校へ通学することはできるのか。

- ・ 小中学校の学力レベルが全国平均より低い。中学校は全国で最下位から 2 番目の学校もある。いじめもそうだが学力をもっとつけていけないといけない。ただでさえ過疎化している地域なので、今後さらに取り残されていくと危惧する。

《神社地区幼稚園・保育所保護者》(7/4)

- ・ できるだけ浸水が浅く、安全な所へ校舎を建築してほしい。
- ・ 統合しても地域性を大事にしてほしい。
- ・ 校舎の建設予定地が決まった場合、学区の変更や見直しがあるのか。
- ・ いつの入学から統合されるのか。

《大湊地区幼稚園・保育所保護者》(6/25)

- ・ 学校は合意がないとつくれぬのか。地震対策だったら早くした方がいいのではないか。
- ・ 候補地を出して、通学路の安全対策などをしていかないと前に進んでいけないのではないか。
- ・ 大湊は 1 つの自治会で構成されているので、統合に対する思いも他の地区と異なるのではないか。
- ・ ふるさとみらいづくりの活動についても難しくなるのではないか。
- ・ 半径 2km を超える人と超えない人で不満が出るのではないか。
- ・ 統合の相手校となる神社小の児童の状況を教えてほしい。統合後どのようになるのかを知りたい。
- ・ 通学路の歩道などで狭いところがあるが安全面は大丈夫か。

《神社地区自治振興会》(9/20)

- ・ スケジュールの第 1 期は同時進行で進めているのか。(下野町)
- ・ みんなの税金をどこに配分するかが大切で、子どもが少なくなっている中で税金を有効に使うには統合は必要なこと。何度も同じような会議を開いても同じではないか。行政の主導で進めていけばよいのではないか。(馬瀬町)
- ・ 小木町だが、神社小から有緝小へ学区が変わるといふ案もあるのか。(小木町)
- ・ 地域から学校がなくなると困るといふ地域もある。(竹ヶ鼻町)
- ・ 災害があった際に、神社地区の全員が避難できる施設があった方がよいと思う。(竹ヶ鼻町)

- ・ 各自治会で説明をしても、子どもがある方なら別だが、大半の方は興味がないと思う。各自治会に来ていただくのか構わないが、意見は出ないと思う。(馬瀬町)
- ・ 地元の方には、学校での地区懇談会の際に説明してもらったら良いのではないか。(小木町)
- ・ この話はほぼ決まっているような内容と思われるので、統合校の場所は色々あるかもしれないが、いつ着工して、どんなものを建てるかだと思ふ。(竹ヶ鼻町)
- ・ 住民の話を聞きすぎるとエゴが出るので、それに打ち勝つだけの気構えで進めてほしい。(小木町)
- ・ このような話は、市長からのトップダウンで進めていただいた方が良いのではないか。(小木町)
- ・ 各自治会への説明会よりも、小学校の体育館で保護者への説明会に、地域の人もいっしょに参加できるようにしてもらったら方が良い。(下野町)
- ・ 一度に統廃合を進めるより、子どもの人数が減ってきたところから始めていった方が良いのではないか。もっと早く進める地域もあるのではないか。(馬瀬町)

(1/11)

- ・ 用地が確保できれば、校舎の設計は直ぐにでもかかれるのか。
- ・ 候補地はだいたい絞られる。土地の問題が解決すれば、半分以上解決したようなもので、全員が納得することはありえない。
- ・ 学校の場所は下野のある程度の場所に決まった、とか土地を提供したいといった人も出てきたと聞く。保護者の意見にもあるように、港中との小中一貫教育も面白いのではないか。
- ・ 統合の話が出た時点で、教育委員会としては、統合することが決まっているようなもの。統合ありきなのでアンケートの意見はあまり関係ない。
- ・ 場所が決まらなければ、色々な意見は出ない。場所ありきでの話である。早く場所を決めてほしい。
- ・ 統合することが決まっているなら早くした方が良い。時間をとって説明しても一緒のことなので、早く進めれば良い。
- ・ 大湊小は児童の人数が減ってきており統合するなら、神社小か御菌小しかない。スクールバスなどの交通の便は、御菌の方がいいのではないか。
- ・ これからの学校の構想として、以前にも話をした複合施設としての学校も検討してほしい。
- ・ 学校施設は今よりも良ければみんなは納得する。場所が決まれば、通学路はその次の問題である。今は協議の仕様が無い。
- ・ 伊勢市の駅前にジャスコや三交がなくなったら、高柳や新道が衰退した。同じように学校がなくなれば、神社に人が来なくなると心配している。神社は衰退してしまう。時代の流れで仕方がないが、道路1つでも状況が変わってしまう。

- ・ 児童が学年 10 人程度しかいないのに、同じようにしていたら、税金の無駄使いになる。統合に反対する人は、自分たちがお金を出して維持していくならいいが、そのようにはならない。
- ・ 大湊の状況はどうなのか。
- ・ 学校の場所は、バイパスを越えて小木町にもって行って、神社にみんな来いと言っても誰も納得しない。中間地点しかない。
- ・ 小木町の児童は、有緝小に通学することができるようになるのか。ただ、そうなれば、小木は、5 ヲ町の振興会から離れていくことになる。
- ・ 小木町は、スクールバスが出るなら賛成である。ただ、半径 2km のギリギリのところである。
- ・ 半径 2km もきちっと区切るのではなく、柔軟に変える必要がある。大湊小と神社小が統合すれば経費がものすごく減り、スクールバス代くらいは直ぐ出るので、スクールバスは出してもらわないといけない。
- ・ 小木町は、有緝小の方に通学してもいいのかを決めてもらわないといけない。
- ・ 小木町は、場所が決まらなると何とも言えない。
- ・ 合併したら何十億もの経費が減る。スクールバスを 2、3 台買っても経費はしれている。校長や教頭を雇う経費に比べたら、バスの運転手を雇う経費はしれている。億と何百万と単位が違う。ここが市役所と民間との考えが違うところ。半径 2km で線を引いてはいけない。

《馬瀬町保護者・住民説明会》(10/16)

- ・ 高学年の保護者になると関心がない。もっと下の幼保の保護者に説明をしてもらったほうが良いのでは。具体的案が聞きたい。学校の位置やスクールバスのことなど。
- ・ バス通学ができるのは 2 km 以上か。
- ・ 漠然としていてわからない。地区によって遠くなる場合があるので、調整区域にならないのか。小木地区は有緝小へ行っている人もいるし、国道 2 3 号線を渡らなくてはいけないので危険。
- ・ 有滝の避難訓練を新聞記事で見た。あのような取組は良いと思う。

《小木町保護者・住民説明会》(10/17)

- ・ 両校の間に校舎を建設したら、小木町が一番端になる。スクールバスを出してもらうか、バイパスを越えた地域は有緝小へ通学できるようにしてほしいといった意見が多くなる。

- ・ 柔軟な対応する中で、現在、小木町から有緝小に通っている子どもがいる。親子会とか地域の関係がバラバラになってしまう。普段は一緒に遊んでいるが、学校へ行くときは、家の前ですれ違って別々の学校へ行ってしまう。子供会に誘っても「学校が違うので」と断られる。新しい学校ができて、調整区域になると地域の子どもがバラバラになってしまう。そのあたりはどう考えているのか。
- ・ 有緝小に通っている子どもたちは、夫婦共働きで昼間いない家庭とか、有緝小の近くに面倒を見てくれる親がいるとか、色々と家庭の事情があると聞いている。新しい学校に学童保育を併設すれば、子どもも新しい学校に通いやすくなるのでは。
- ・ 神社や大湊には核となる幼稚園や保育所がないため、色々な保育園や幼稚園に通っている。他の地域の子ども達と友だちになるため、有緝小に行くことが多いと思う。統合校に新しい幼稚園等を設置してはどうか。
- ・ 公立の幼稚園が2年保育なので、3年保育を実施すると状況も変わってくる。
- ・ 第1期の119億円はいつ頃までの費用となっているのか。
- ・ 小木町は、新しい学校は遠くなるが、もしスクールバスが走るとなると、安全なので統合校に通うようになるかもしれない。
- ・ 転入した人は、地域のことがわからないので、市から一番近い学校が浜郷小と聞いたので、浜郷小に通っている人がいる。この地域の学校は神社小と正しく伝えて欲しい。
- ・ スクールバスは保護者の負担があるのか。
- ・ 小木町は距離の問題以外にもバイパスを越える危険性があるので、2 km以内でもバスを出してもらった方が良い。今も雨の日は、神社小まで親が送り迎えをしている。
- ・ スクールバスが走らなければ、大半が有緝小へ通学することになるかもしれない。そうなると神社学区5ヵ町のまちづくりのこともあり、小木町にとっては大きな問題になる。小木町の場合は、統合校の場所次第のところがある。
- ・ バイパスや神社線の通学は危ない。朝の信号待ちの時もすごいスピードで車が通っていく。
- ・ 新校舎は、不審者対策もあり、1階に職員室、2階に児童の教室にしてほしい。今の神社小は2階に職員室がある。
- ・ 今後スクールバスや学童クラブなどの要望をどのように出していけばよいのか。

《下野町保護者・住民説明会》(10/22)

- ・ 大湊・神社の中間地に統合校を建て、校歌・校名を決め新しい学校をつくるということであるが、子どもたちが新しい学校で学べることは良いこと。ただ母校の学校がなくなることは寂しい。時代の流れや防災面も考えてもらえると思うので反対にはならないと思う。
- ・ エレベーターは何階から要るといような基準があるのか。
- ・ 跡地利用もきちんと考えてほしい。統合後なくしてもらっては困る。学童保育も考えてほしい。
- ・ 土地の取得の問題は難しいのでは。地権者が1人ならいいがそうでもないし、地元の協力がないとクリアしていけないのでは。
- ・ みなさん納得したうえで新しい学校をつくってほしい。慣れていくまでは大変だと思うが、大きい学校で楽しくやってほしい。
- ・ 防災について、下野・馬瀬地区の人は新校舎が建っても学校にいる時ではなく放課後が心配。下野地区でも新校舎より内陸部は海の方には逃げない。ある程度の防災拠点として、神社小・大湊小・港中は残しておいてほしい。将来的には港中・御薊中の新校舎に避難したいと考えている。
- ・ 統合の反対意見はあったのか。
- ・ 大湊地区はどう言っているのか。
- ・ 給食は自校調理かセンター方式か。
- ・ 一番心配なのは防災面ではなく、学校の荒れ。2つの学校が一緒になることでさまざまなことを合わせていく必要がある。統合から荒れないようお願いしたい。
- ・ 統合校の場所は校区の端っこであっても、なるべくバイパスに近い、海から離れたところにしてほしい。
- ・ 統合後の名前は神社小にならないのか。
- ・ 学区編成も考えてほしい。

《神社港町保護者・住民説明会》(10/24)

- ・ 両校の間というのが問題になる。海から離れるなら理解できるが、両校の間になると海に近づくことになるので現在の位置が理想ではないか。

- この地域は、小中学校、公的機関である支所等が揃っている。学校が神社から他所に行くことに對し良い気はしない。高齢者の避難もわざわざ遠くに行かないといけない。この場所なら第1波が来るまでに避難できる。校名も変わるし、神社が廃っていく。どうしても学校が他所の土地へ行くなれば、この前の土地を地権者に協力してもらおう。大湊の子ども達がバスでここへ来てもらえば良い。新しい校舎は学童クラブも含めて総合的な学校施設を行ってもらいたい。
- 体育館を建設する時に、当時学校の建設委員長だった。土地が広い方が良いということで動いてもらった方もいる。そのようなことがあったので、わざわざ新しい土地を買い求めて校舎を建てるよりも安く済むので、この場所で建て替えてもらった方が良い。神社港は学区の者が神社に集中しているので、学校がなくなるとゴーストタウンになる。人の集まる機会がない寂れた町になる。学校がなくなれば何もかも無くなってしまおうという不安がある。また、幼稚園と保育所を一緒にしたようなものを併設し、学童保育も一緒にできるような形態の校舎をつくってほしい。
- 小さな学校は統合するのは仕方がないと思うが、この場所から神社小がなくなるのは悲しい。大湊と神社の間に建てても、同じような災害が起こる。建てる場所を探すよりもこの場所に建てた方が経済的にも良い。大湊からはバスで送り迎えをするのであれば、ここに校舎を建ててもらうのが一番良いと感じている。
- 学区編成の見直しも行うのか。
- 小木町の方は有緝小の方が近くなるので、有緝小に通学できるのか、と言う人もいる。
- 両校の間となると海側に学校が建つので親としては大変ではないか。統合の組み合わせがおかしい。
- 田んぼがないので駐車場を増やすことが難しいが、せめてこの近くに建増しをしてほしい。
- 現在子どもが4年生だが、今の校舎の場所でも十分対応できる。神社と大湊を統合するのではなく、御菌は1小1中、この地域は3小1中なので、大湊は神社とではなく、御菌小に統合すれば2小1中が二つになり、将来的に中学校が一つになっても違和感がなくなるのでは。
- 土地も見つかっていないような状況では、平成28年までの統合は時間的に無理ではないか。無理でした、となるのか、時期をずらすのか。
- だいたい建設場所の見当はついているのか。バイパスの方に近づくとの話があった。両校の間となれば、工業団地のあたりか。
- 場所が決まっていなければ、第1はこの場所への建て直しを希望する。昔から他の地域からもこの場所に通っていただいているので理解してもらえる。この場所を継続して欲しい。駐車場が無いのはどの学校も一緒なので、土地が狭いのなら駐車場は立体駐車場にすればよい。

- ・ 小木町からはスクールバスで運んでもらうなどの策があるので、安全対策は色々な方面から検討していただきたい。

《竹鼻町保護者・住民説明会》(10/26)

- ・ 新たな校区割の考えはあるのか。新校舎の場所によって変わってくるかと思うが、今までの校区割りだけで考えていくと難しいのでは。
- ・ 神社小が移動してここが更地になったら困る。
- ・ 通学距離が長くなってバス通学になる子どもいるが、おそらくここはバス通学にならない。通学路の整備やグリーンロード、ガードレールなど計画の中にあるのか。
- ・ 大湊小が御菌小と統合すれば神社小はそのままでよいのでは。
- ・ 神社小と大湊小の中間地に新校舎が建った場合、小木町が遠くなって有緝小へ行ってしまったら人数が減り一緒なのは。
- ・ 下野町や馬瀬町に学校が移ったら人の流れは港中より奥にははいつてこない。神社自体の人の流れが止まってしまうのでは。止まってしまった時、行政として栄えるようにしてくれるのか。
- ・ 今後どのようにまちづくりを進めていくのか。自治会の分裂を懸念する。
- ・ 神社地区に幼保一体（こども園）の実現をお願いしたい。
- ・ 新校舎を建てる際に、こども園・神社支所・学童保育・郵便局などが集まった総合的なものにしてはどうか。みんなが集まる魅力的なものが建つのではないか。
- ・ 具体的な土地はあるのか。
- ・ 現保護者、さらに若い世代がどのような構想を持っているのか。現在の学校の防犯面は各自治会に頼っているのが現状。防犯灯の明るさなどいろんなことを総合的に見てほしい。
- ・ 神社小でやっている伝統的なものは、統合後も引き続き今と同様にしてくれるのか。
- ・ 学校が新しくなるのを期に教育内容はどうなるのか。

《大湊地区自治振興会》

(5/16、8/9)

- ・ 大湊は防災(橋の安全性、避難所の確保)が一番課題。今のままでは町民に説明できない。町づくりの中に統合がある。

- ・ 町おこしと兼ねたものを考えてほしい。
- ・ 新しい学校ができて、大湊小がなくなれば避難するところがない。校舎は残してほしい。
- ・ 大湊小の校舎は残るのか。残ったとしても維持管理はどうするのか。

(9/20)

- ・ 1学級 30～35人が望ましいのか。大湊と神社を統合すると先生の数はどうなるのか。
- ・ 高台がない地域なので防災に充実した安全な学習施設で子どもたちに学んでほしい。
- ・ 交通手段が小学校では半径2km以上が全額市の負担というのが現実的には2本の橋を渡るしかない。子どもに負担がないよう現実的な対応をお願いしたい。
- ・ 中学校を統合するなら津波対策を考えて、港中学校・御菌中学校を第1期にしてほしい。
- ・ 第1期平成28年度開校であればさかのぼって校舎建設にどれくらいかかるのか。
- ・ 通学距離が一番気になる。大湊地区は現実的に安全面を考えてスクールバスにしてほしい。
- ・ 現在1クラス10～20人で子どもたちは楽しいのか。もう少し多いとクラス替えがあつて楽しいし、いじめにも対応できるのでは。
- ・ 小中一貫校は考えていないのか。(大湊小・神社小・御菌小 港中・御菌中)
- ・ 統合後も今の小学校は避難所として残してほしい。維持管理がかかり自治会としては無理なので、避難所として市で管理していただきたい。通学路の安全として大湊橋の強度確認をしていただきたい。避難経路の確保もお願いしたい。統合と防災は平行して進めてほしい。
- ・ 川を埋めてほしい。川を埋めて地形的な問題を解決するのはどうか。
- ・ 統合には反対ではないが、安心のまちづくりや通学路に対して地域の気持ちを受け止めていただきたい。
- ・ 現在の校舎が残ったら、教委でなく危機管理課や維持課が管理していくのか。
- ・ 市内の統廃合はどのような状況か。

《大湊町振興会》(2/18)

- ・ 港中の前の信号と大湊へ行くまでの間で事故が多い。統合すると、さらに多くの人が通学する可能性がある。神社の小学生は大湊の方へ、中学生は港中学へ通学することになる。メイン通りとなるので、道の確保はして欲しい。統合により神社からの新しい道ができれば良いと思っている。

- ・ 統合はいじめの件もあるが、少人数になると向上心が少なくなる。教育環境の整備として進んでいくことが大事だと思う。望まれる教育環境を提供できるかといった考え方が大事である。
- ・ 人権教育の際に学校に訪問したが、とても素直な児童だった。保護者なら学校の規模が大きくなると不安になる要素があるのではないかと思う。統合準備会が立ち上がれば、建設予定地はどの段階で決定するのか。
- ・ 通学は、スクールバスになるのか。歩いて帰るとなると、この前の津波注意報などの際の対応や判断が難しくなる。
- ・ 馬瀬町で農用地はどの辺になるのか。下野の墓のあたりや馬瀬鉄工所のあたりはどうか。
- ・ 小学校にサブグラウンドをつくる予定はないのか。
- ・ 学童クラブは学校内に設置するのか。

《神社地区統合説明会》(3/17)

(意見・質問等なし)

《大湊地区統合説明会》(3/17)

- ・ 大阪の方で小学生が自殺した事件があったが、教育委員会としてどう捉えているのか。子どもたちが統合のことを知らないので、子どもたちにもアンケートを実施したらどうか。
- ・ 統合準備会は統合するまで同じメンバーで続けていくことになるのか。それとも年度で代わっていくことになるのか。
- ・ 統合校の資材はどの地方の資材を使うことになるのか。きずなということで東北地方の資材を使うことも考えられるが放射線のことなどが心配である。